



国際紙パルプ商事株式会社  
KOKUSAI PULP&PAPER CO.,LTD.

# 2019年3月期 決算説明会資料

---

2019年6月3日

国際紙パルプ商事株式会社

(東証1部／9274)



- I    2019年3月期    業績**
  
- II    2020年3月期    連結業績予想**
  
- III    中期経営計画**



- **2019年3月期業績は増収増益**
- **2020年3月期業績は増収減益予想**
- **今期より第2次中期経営計画「事業育成期」が始動**



# I 2019年3月期 業績

---



- 売上高は国内拠点、海外拠点共に前期比増収。販管費の増加により、営業利益は減益
- 営業外費用の増加により経常利益は減益も、固定資産売却益により当期純利益は増益

(単位：百万円)	2018年3月期		2019年3月期				2019年3月期 開示予想
		売上比		売上比	前期比	増減率	
売上高	377,714	100.0%	384,973	100.0%	+ 7,258	+ 1.9%	382,835
売上総利益	22,008	5.8%	22,064	5.7%	+ 56	+ 0.3%	—
販売費及び 一般管理費	19,645	5.2%	19,783	5.1%	+ 138	+ 0.7%	—
営業利益	2,362	0.6%	2,280	0.6%	△ 82	△ 3.5%	1,986
経常利益	3,086	0.8%	2,518	0.7%	△ 567	△ 18.4%	2,130
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,433	0.6%	2,497	0.6%	+ 64	+ 2.6%	2,243

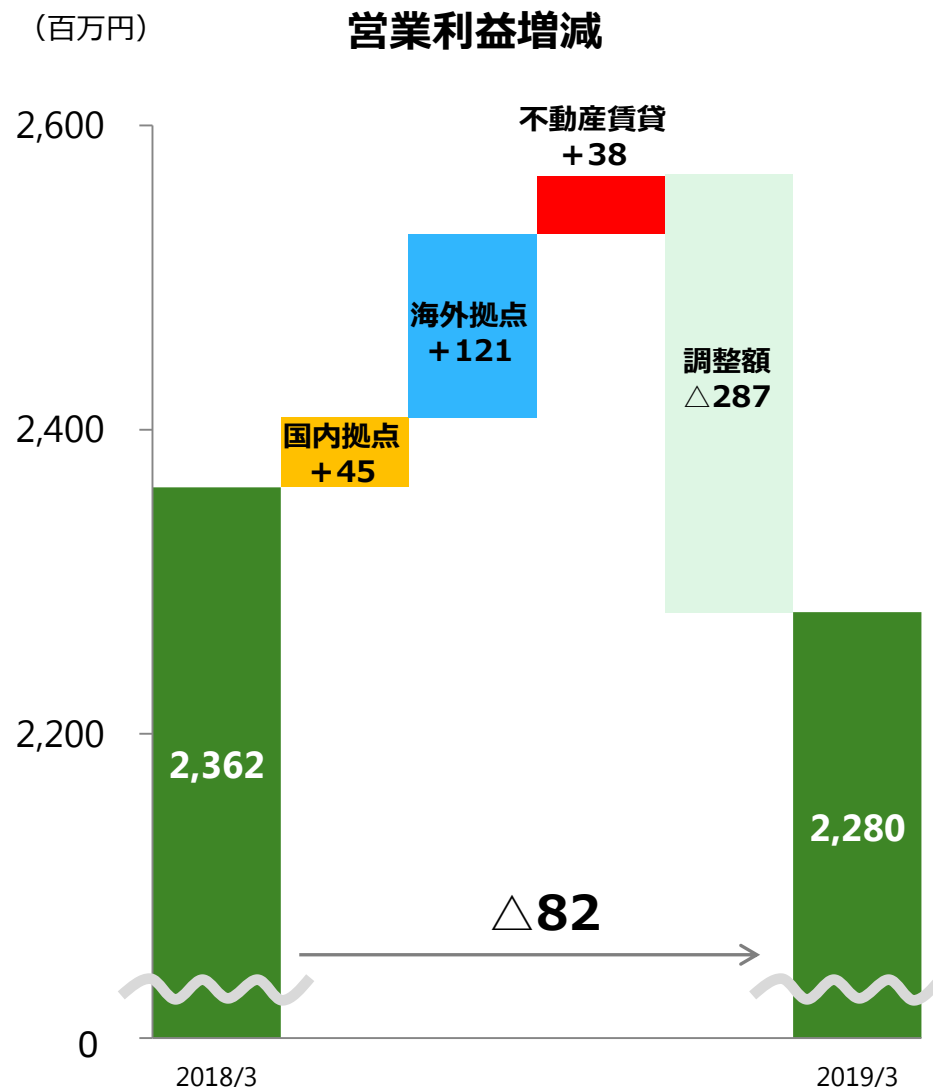
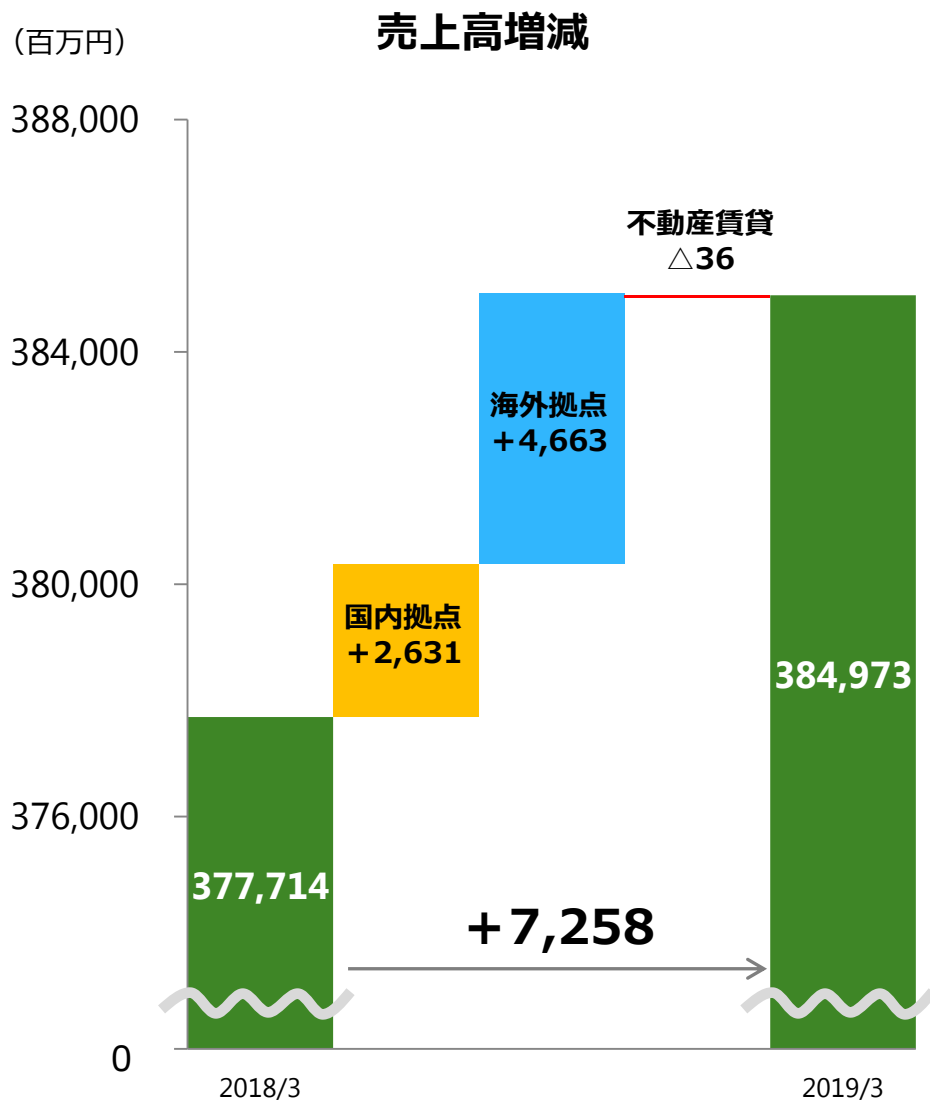
# 2019年3月期 セグメント別概況



(単位：百万円)		2018年3月期	2019年3月期			2019年3月期 (開示予想)	
			構成比	前期比	増減率		
国内拠点紙パルプ等 卸売事業	売上高	309,670	312,301	81.1%	+2,631	+0.8%	310,680
	セグメント利益	4,521	4,567	87.9%	+45	1.0%	4,058
	利益率	1.5%	1.5%	—	±0P	—	1.3%
海外拠点紙パルプ等 卸売事業	売上高	66,810	71,474	18.6%	+4,663	+7.0%	70,927
	セグメント利益	△91	30	0.6%	+121	—	△57
	利益率	—	0.04%	—	—	—	—
不動産賃貸事業	売上高	1,233	1,197	0.3%	△36	△2.9%	1,227
	セグメント利益	561	599	11.5%	+38	+6.9%	647
	利益率	45.5%	50.1%	—	+4.6P	—	52.8%
合計	売上高	377,714	384,973	100.0%	+7,258	+1.9%	382,835
	セグメント利益	4,991	5,197	100.0%	+205	+4.1%	4,648
	調整額	△2,628	△2,916	—	△287	—	△2,661
	営業利益	2,362	2,280	—	△82	△3.5%	1,986
	利益率	0.6%	0.6%	—	±0P	—	0.5%

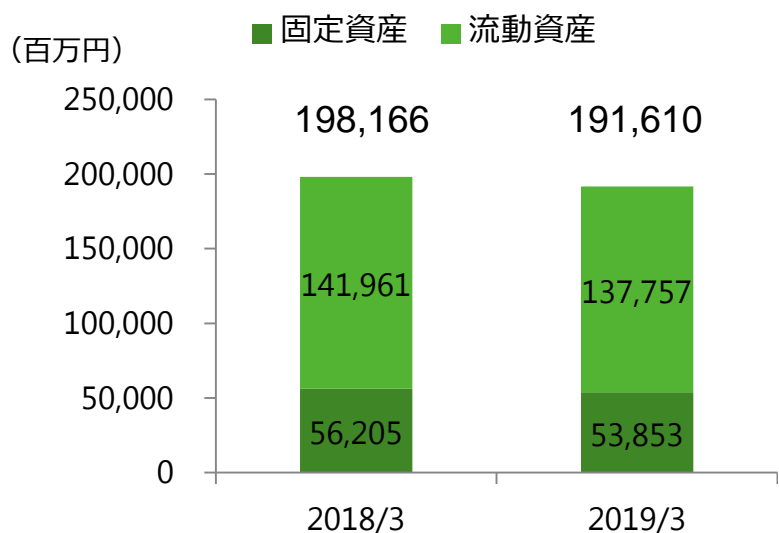
※売上高・・・外部顧客への売上高

# セグメント別売上高・セグメント利益増減要因



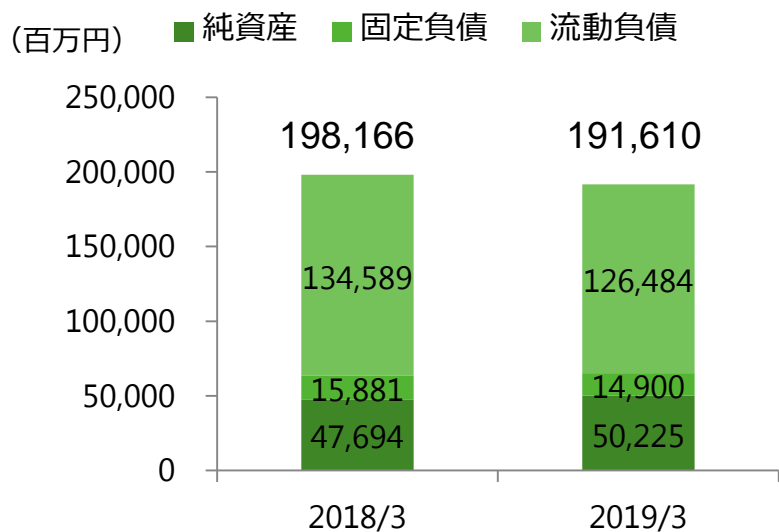
※売上高・・・外部顧客への売上高

# 連結貸借対照表



流動資産	137,757 (△4,203)
現金及び預金	2,841 (△1,336)
受取手形及び売掛金	105,767 (+74)
電子記録債権	12,172 (△1,036)

固定資産	53,853 (△2,351)
有形固定資産	24,484 (△394)
無形固定資産	3,290 (+94)
投資その他の資産	26,078 (△2,051)



流動負債	126,484 (△8,105)
支払手形及び買掛金	83,318 (△839)
短期借入金 (含むCP)	33,192 (△7,416)

固定負債	14,900 (△981)
長期借入金	8,164 (△920)

純資産	50,225 (+2,530)	
資本金	4,723 (+1,280)	新規上場に伴う資本増加
資本剰余金	8,952 (+1,281)	新規上場に伴う資本増加
利益剰余金	30,554 (+2,005)	





## Ⅱ 2020年3月期 連結業績予想

---

# 2020年3月期 連結業績予想



- 売上高は中国やシンガポールで紙の販売増加を見込んでいることや、国内で板紙の拡販等を見込み、前期比増収。営業利益は古紙やパルプの価格下落、販管費の増加等を保守的に見込み、前期比減益
- 支払利息等の営業外費用の増加により、経常利益は減益見込み。当期純利益は経常利益を上回る見通し

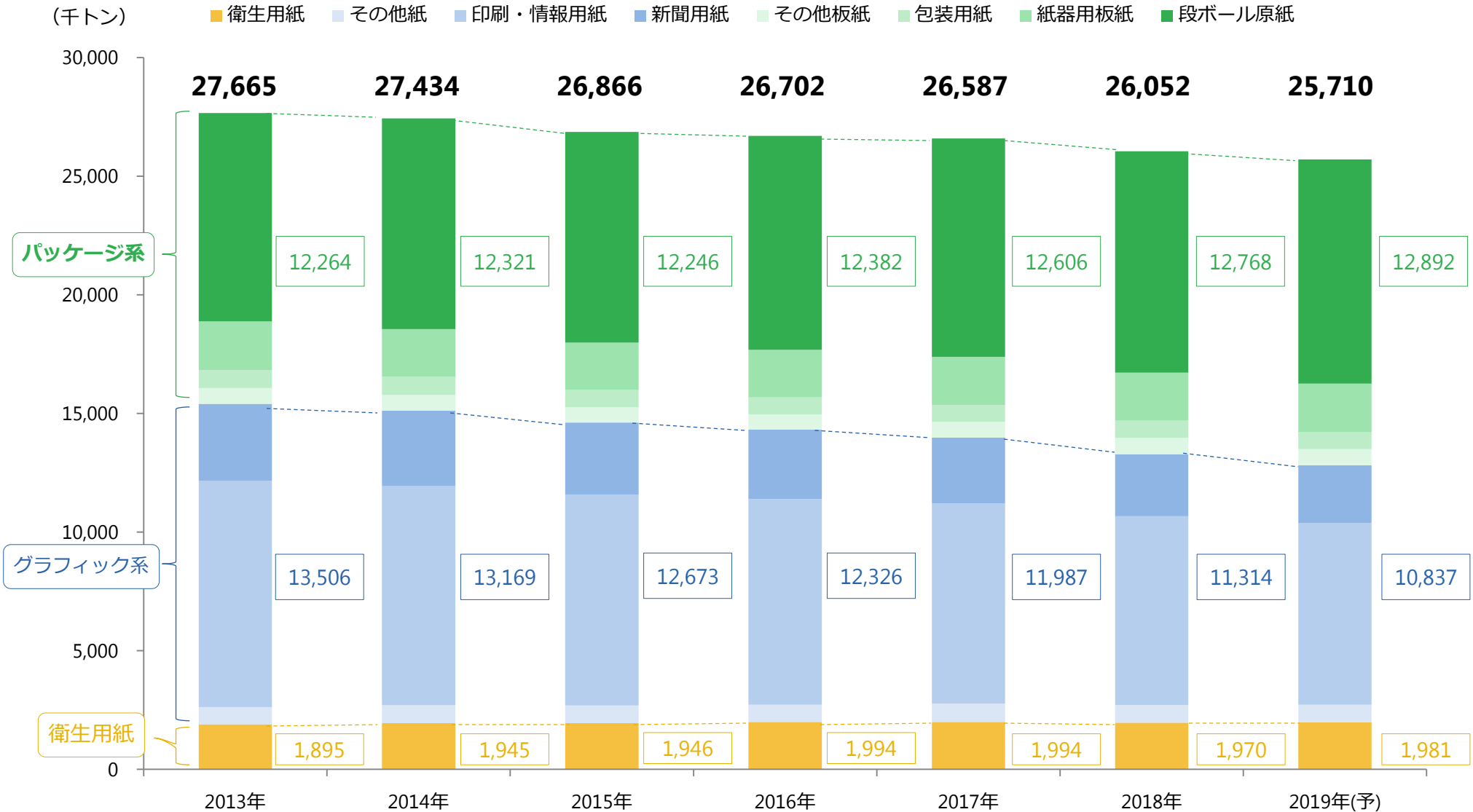
(単位：百万円)	2019年3月期		2020年3月期			
		売上比		売上比	前期比	増減率
売上高	384,973	100.0%	387,000	100.0%	+2,027	+0.5%
営業利益	2,280	0.6%	2,000	0.5%	△280	△12.3%
経常利益	2,518	0.7%	2,100	0.6%	△418	△16.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,497	0.6%	2,200	0.6%	△297	△11.9%
1株当たり当期純利益	34.74円	—	30.60円	—	△4.14円	—



(単位：百万円)		2019年3月期	2020年3月期			
			構成比	前期比	増減率	
国内拠点紙パルプ等 卸売事業	売上高	312,301	312,900	80.9%	+599	+0.2%
	セグメント利益	4,567	3,900	84.8%	△667	△14.6%
	利益率	1.5%	1.2%	—	△0.3 P	—
海外拠点紙パルプ等 卸売事業	売上高	71,474	72,900	18.8%	+1,426	+2.0%
	セグメント利益	30	100	2.2%	+70	+233.3%
	利益率	0.04%	0.1%	—	+0.1 P	—
不動産賃貸事業	売上高	1,197	1,200	0.3%	+3	+0.3%
	セグメント利益	599	600	13.0%	+1	+0.2%
	利益率	50.1%	50.0%	—	△0.1 P	—
合計	売上高	384,973	387,000	100.0%	+2,027	+0.5%
	セグメント利益	5,197	4,600	100.0%	△597	△11.5%
	調整額	△2,916	△2,600	—	+316	—
	営業利益	2,280	2,000	—	△280	△12.3%
	利益率	0.6%	0.5%	—	△0.1 P	—

※売上高・・・外部顧客への売上高

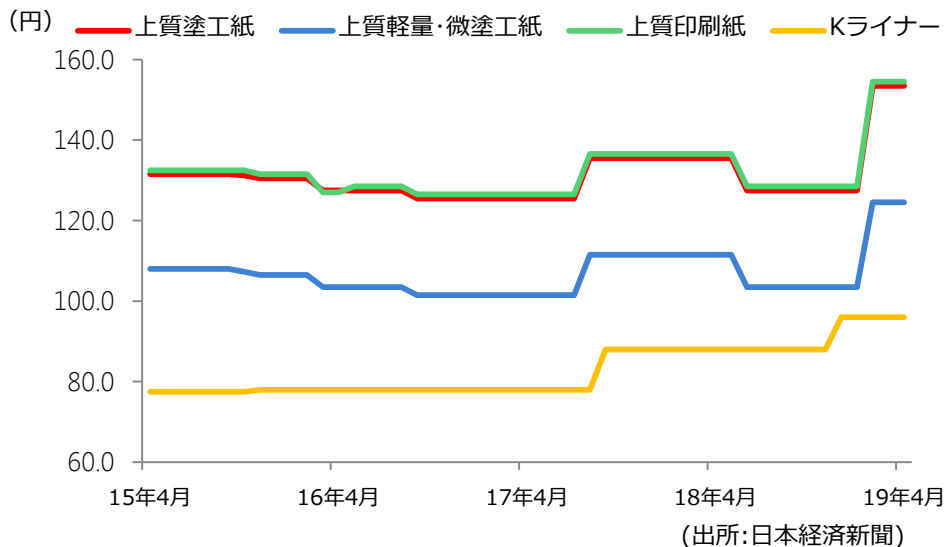
# 紙・板紙 内需試算推移及び見通し



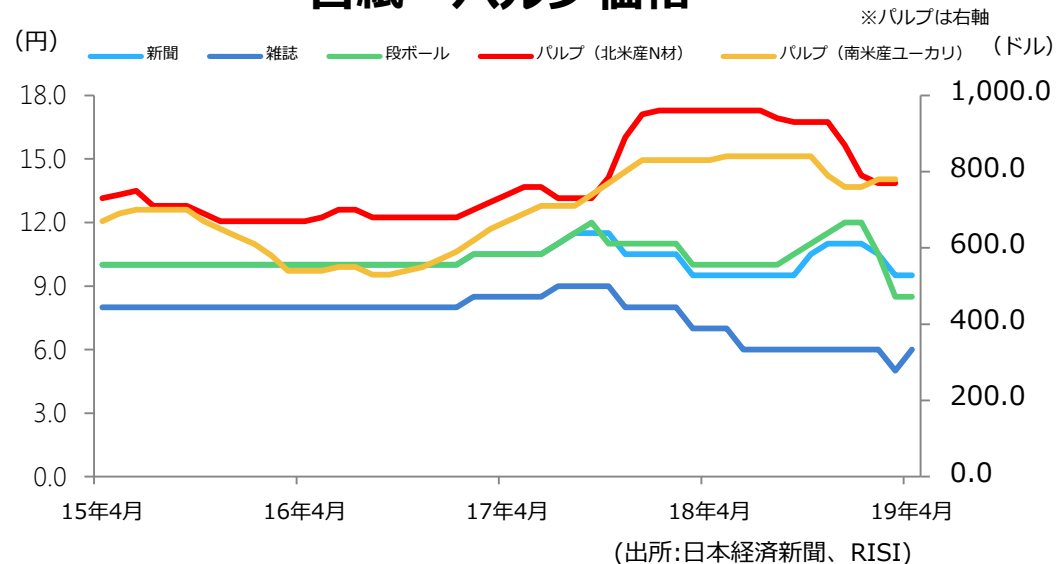
(日本製紙連合会資料より当社作成)



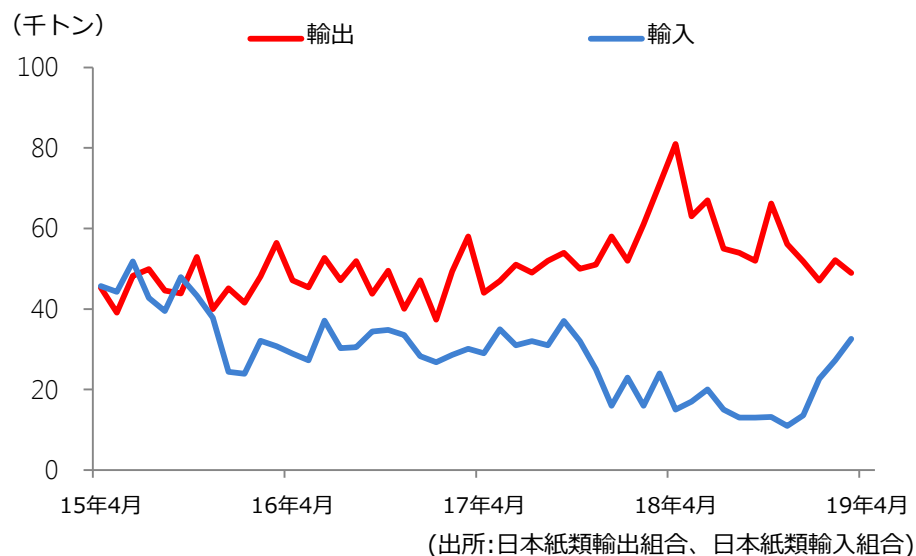
## 市況価格



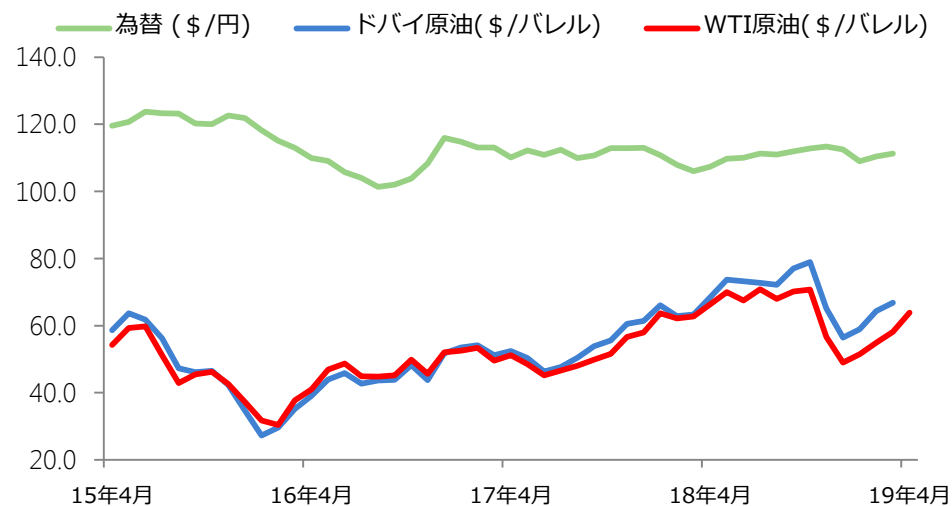
## 古紙・パルプ価格



## 塗工紙輸出入



## 為替・原油価格





## Ⅲ 中期経営計画

---



## ■ 経営理念、グループ企業行動指標、経営ビジョンに基づき、価値を創造

# K P P G R O U P W A Y

### 当社グループの存在意義・ミッション

- グローバル経営の充実と持続的な成長を目指します。
- 社員とその家族の幸福を追求するとともに  
株主・顧客・取引先・地域社会より信頼される企業を目指します。
- 循環型社会の実現と教育・文化・産業の振興に広く貢献します。

経営理念

### 当社グループが 社会的責任を果たすための行動指標

- 「法令等の遵守」
- 「公正・自由・透明な事業活動」
- 「社会や取引先からの信頼の獲得」
- 「社会貢献活動の推進」
- 「積極的な企業情報の開示」
- 「国際社会との共生」
- 「職場環境の充実」
- 「自然環境との調和」
- 「反社会的勢力との関係遮断」

グループ企業行動指標

### 当社グループの描く経営ビジョン

#### Globalization

グローバルにビジネスフィールドを展開する

#### Innovation

“創紙力”で未来を開拓する

#### Function

提案力・企画力で付加価値を創造する

#### Trust

ステークホルダーの信頼に応える

**+1** 当社グループは、この経営ビジョンのひとつひとつに環境への取組みを+1として加え、環境配慮型商品の提案・古紙回収・再資源化等を通じ「循環型社会」の実現を目指します。

経営ビジョン

# G I F T + 1



## ■ 海外拠点の事業構造改革と、事業ポートフォリオ組み替えにより攻めの経営に向けた基盤整備が進む

(単位：百万円)	2016年3月期		2019年3月期
売上高	389,678	△1.2%	384,973
営業利益	1,516	+50.4%	2,280
経常利益	1,853	+35.9%	2,518
親会社株主に帰属する当期純利益*	1,215	+105.5%	2,497

\*2019年3月期は固定資産売却益を特別利益に計上





## 第1次中期経営計画の振り返り②

### 国内拠点紙パルプ等 卸売事業

- ・ポートフォリオ組み替え、循環型ビジネスモデルを拡大
- ・安定的な営業利益を確保

### 海外拠点紙パルプ等 卸売事業

- ・事業構造改革を実施したことにより営業利益は黒字転換

### 不動産賃貸事業

- ・不動産の効率化に取り組み、営業利益は安定的に推移

(単位：百万円)

	2016年3月期	第1次中期経営計画（実績）		
		2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
<b>売上高</b>	<b>389,678</b>	<b>366,777</b>	<b>377,714</b>	<b>384,973</b>
国内拠点紙パルプ等卸売事業	320,781	310,042	309,670	312,301
海外拠点紙パルプ等卸売事業	67,350	55,197	66,810	71,474
不動産賃貸事業	1,546	1,538	1,233	1,197
<b>営業利益</b>	<b>1,516</b>	<b>1,031</b>	<b>2,362</b>	<b>2,280</b>
国内拠点紙パルプ等卸売事業	4,217	3,961	4,521	4,567
海外拠点紙パルプ等卸売事業	△ 624	△ 1,008	△ 91	30
不動産賃貸事業	608	682	561	599
調整額	△ 2,685	△ 2,603	△ 2,628	△ 2,916



## ■ 事業構造改革による事業ポートフォリオ組み替えが進むも収益力は一層の改善余地

### 主要施策

古紙から製品販売までの  
循環型ビジネスモデルの拡大

海外拠点紙パルプ等  
卸売事業の再構築

事業ポートフォリオ改革

### 成果

日本最大級の古紙  
リサイクルシステムを構築

海外拠点紙パルプ等卸売  
事業の赤字幅縮小

トータルパッケージ、  
ソリューション事業の強化

タウンecommo設置台数  
**349台→437台**  
(2016/3月→2019/3月)

黒字転換（営業利益）  
**△624百万円→30百万円**  
(2016/3期→2019/3期)

- ▶ 海外のパッケージ会社との  
アライアンス強化
- ▶ ホウカンTOKYOビジネス  
サービス(株)の設立
- ▶ バイオマス発電所運転支援  
システムの開発開始

### 課題

- ▶ 海外拠点紙パルプ等卸売事業の黒字化定着
- ▶ 収益力の強化



## 1. 世界の紙・板紙市場の潜在需要

	先進国 + 中国		途上国	
<b>人口</b> (2015年)	26.5億人 (36%)		47.3億人 (64%)	
<b>紙・板紙消費量</b> (2017年)	3.19億トン (75%)		1.04億トン (25%)	
	日本	中国	インド	アフリカ
<b>1人当り消費量</b> (2017年 kg/人)	208.9	82.1	10.7	7.7

(出所：国連人口統計、RISI資料より当社集計)  
カッコ内は全体に占める割合



- ◆ 途上国の人口増・生活水準向上に伴い、紙・板紙需要の増加が見込まれる
- ◆ 紙・板紙市場のポテンシャルは高いと認識

## 2. パルプ市場

	先進国	途上国
<b>2025年人口予想</b>	12.8億人 (16%)	69.0億人 (84%)
<b>年平均増加率</b> (2015～2025年)	0.2%	1.2%

(出所：国連人口統計 - 中位推計)



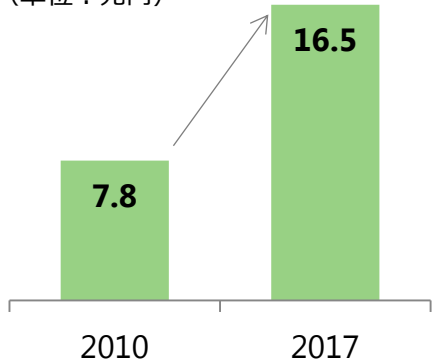
- ◆ 途上国の人口増・生活水準向上に伴い、トイレットペーパー等の家庭紙や、紙おむつ等の衛生紙の需要の増加が見込まれる
- ◆ 家庭紙・衛生紙の原料はパルプであり、パルプの需要増加を期待



## 3. EC市場の拡大

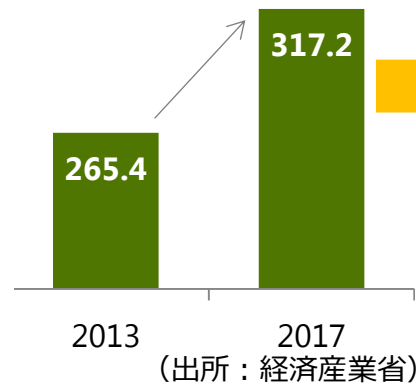
日本のBtoC-EC市場規模

(単位：兆円)



日本のBtoB-EC市場規模

(単位：兆円)



◆ 今後もEC市場の拡大が見込まれ、梱包材としての段ボール需要が期待される

## 4. 脱プラスチック

- プラスチック製品による海洋汚染  
⇒世界的に深刻な問題に
- 2019年のG20の議長国は日本  
⇒脱プラスチックへの関心が更に向上
- プラスチック製品の代替品  
⇒ストローやレジ袋の紙化等、紙製品に注目が集まっている

- ◆ 脱プラスチックの潮流は当社にとって商機と認識
- ◆ 紙加工会社といった脱プラスチックに関連する企業の買収も視野に、新たなビジネスチャンスを模索



- 事業育成期と位置付け、事業戦略と投資戦略の柱を軸に事業育成に注力

## 第2次中期経営計画 – 事業育成期

### 事業戦略

アジア・パシフィック圏における事業展開加速

パルプ事業の強化

包装資材事業の強化

ソリューション事業の拡大

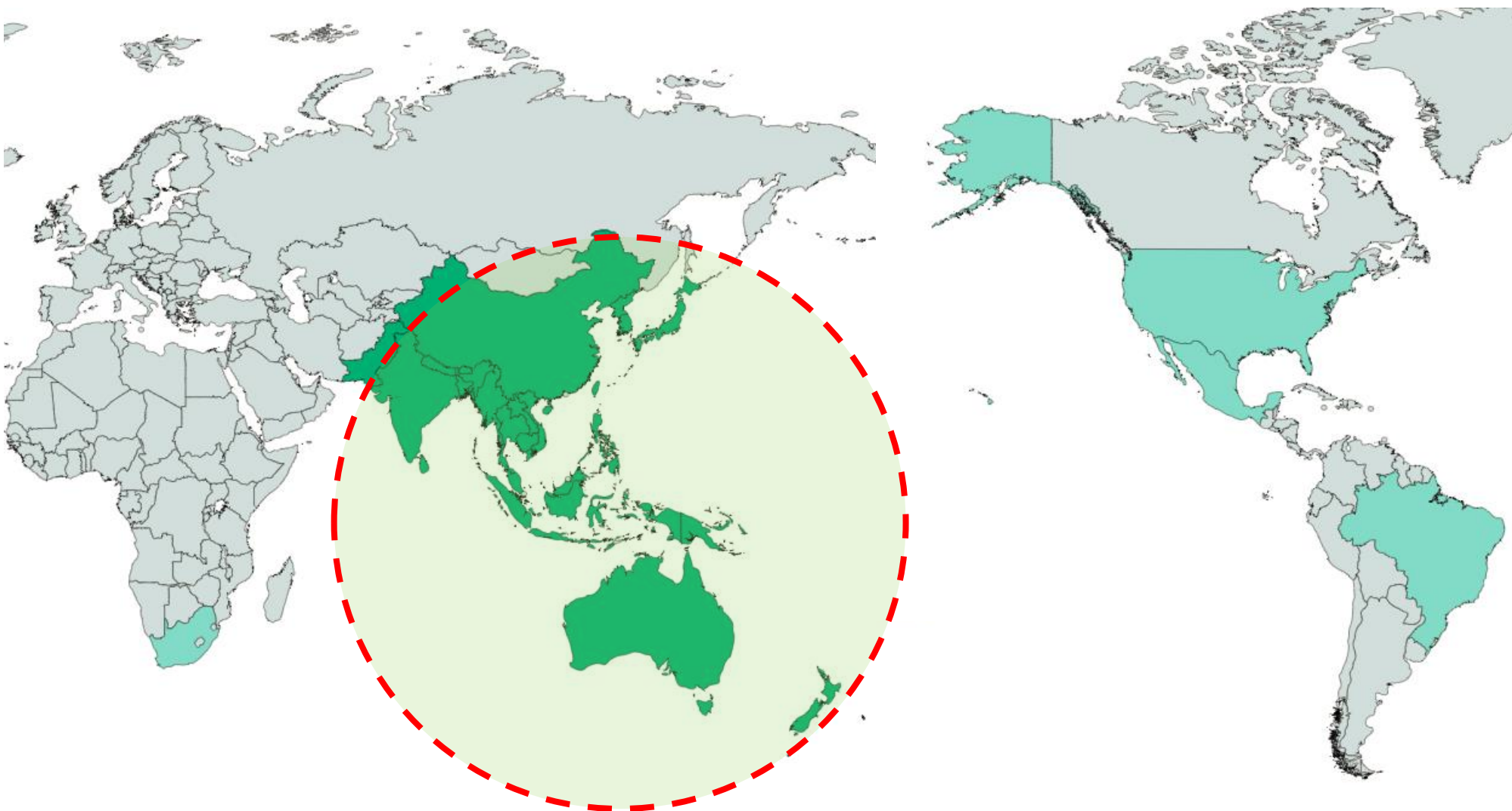
### 投資戦略

M&A戦略の拡大

I T 投資

コンバーター等への事業出資

保有不動産の活用



- **紙、板紙、パルプの需要増加が見込まれるアジア・パシフィック圏を中心に事業展開加速**



## ■ アジア・パシフィック圏におけるM&A戦略の第1歩としてSpicers社の子会社化に着手

### ➤ 会社概要

名 称	Spicers Limited	
所 在 地	155 Logis Boulevard, Dandenong South, Victoria 3175, Australia	
代表者の役職氏名	David Martin, CEO	
事業内容	商業印刷紙、デジタルメディア、ラベル・包装資材、産業用包装材、サイン・ディスプレイ関連商品等の卸売	
資本金	1,935百万豪ドル	
設立年月日	2000年4月	
売上高	384.0百万豪ドル（2018年6月期）	
営業利益*	6.1百万豪ドル（2018年6月期）	*Result from Operating Activities

### ➤ 株式取得の概要

株式取得方法	SOA (Scheme of Arrangement)により、Spicers社の全株式を現金で買付	
取得価額	約74億円	
株式取得実行日	2019年7月（予定）	

※ SOAの実施には、Spicersの株主総会における承認（投票議決権ベースで75%以上かつ出席投票株主数の過半数による承認）やオーストラリア裁判所による承認等が必要とされているため、これらの条件が充足されない場合には本件株式取得が実現しない可能性がございます。



# トピックス 豪州の大手紙商 Spicers社を子会社化

## ■ アジア・パシフィック圏におけるM&A戦略の第1歩としてSpicers社の子会社化に着手

### Spicers社

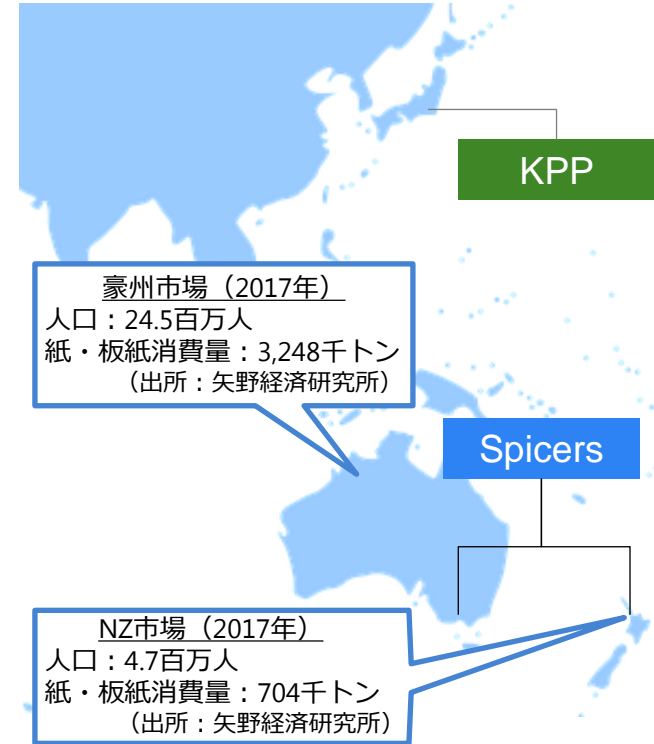
- オセアニア地区で紙・包装資材及び紙関連製品等の卸売を手掛けるリーディング・カンパニー
- 商業印刷用紙の他に、サイン・ディスプレイ、ラッピング、パッケージング等、多岐に亘る製品ポートフォリオを保有

### 当社

- 世界有数の紙専門商社
- 豊富な資金調達力
- 約1,200社の仕入ソースを保有。また、アジア地域を中心に世界各国に販売ネットワークを保有
- アジア・パシフィック圏における事業拡大に注力



**Spicers社の販売力・製品ポートフォリオに当社の資金調達力・仕入ソース・海外ネットワークを掛け合わせ、アジア・パシフィック市場を開拓**



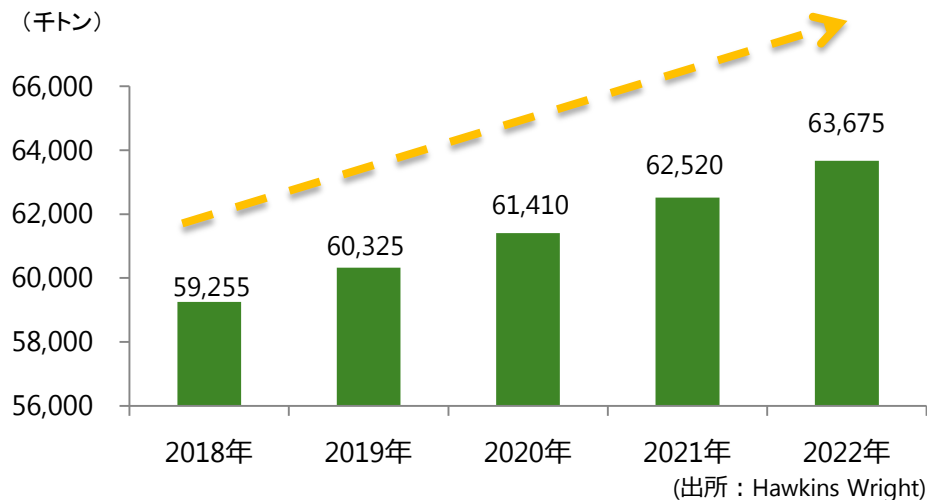
- 1月17日にSpicers社とScheme Implementation Deed (子会社化に向けた実施契約) を締結
- 当社では初となる海外事業会社の100%子会社化
- アジア・パシフィック圏におけるM&A戦略の第1歩に  
⇒ 今後は更にアジア・パシフィック地域における事業展開の加速を図る



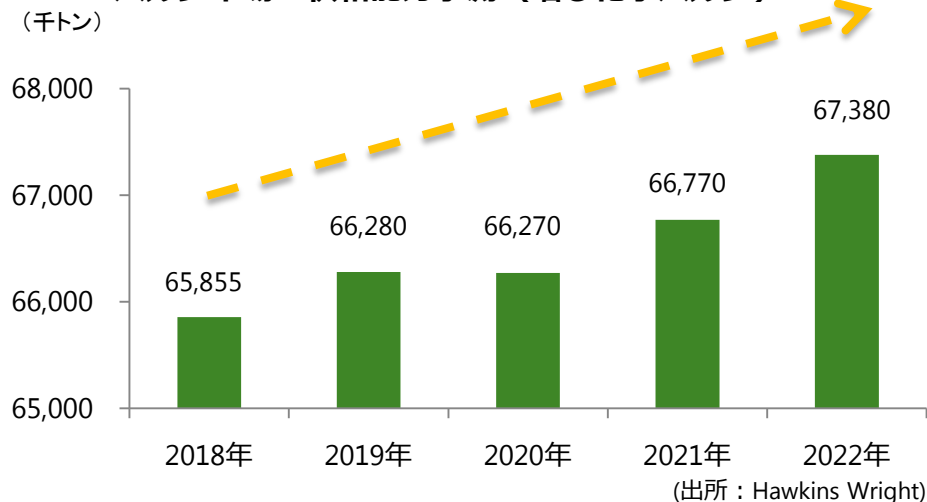


## ■ 中期的に需要拡大が見込まれる衛生用紙や新市場を見据え、原料となるパルプの販売を強化

パルプ市場 需要予測（晒し化学パルプ）



パルプ市場 供給能力予測（晒し化学パルプ）



### パルプ市場を取り巻く環境

- ① 途上国における家庭紙・衛生紙の需要増加
  - ② インバウンド効果による家庭紙の需要増加
  - ③ 高齢化による衛生紙の需要増加
- ⇒パルプ需要は国内外で増加する見通し

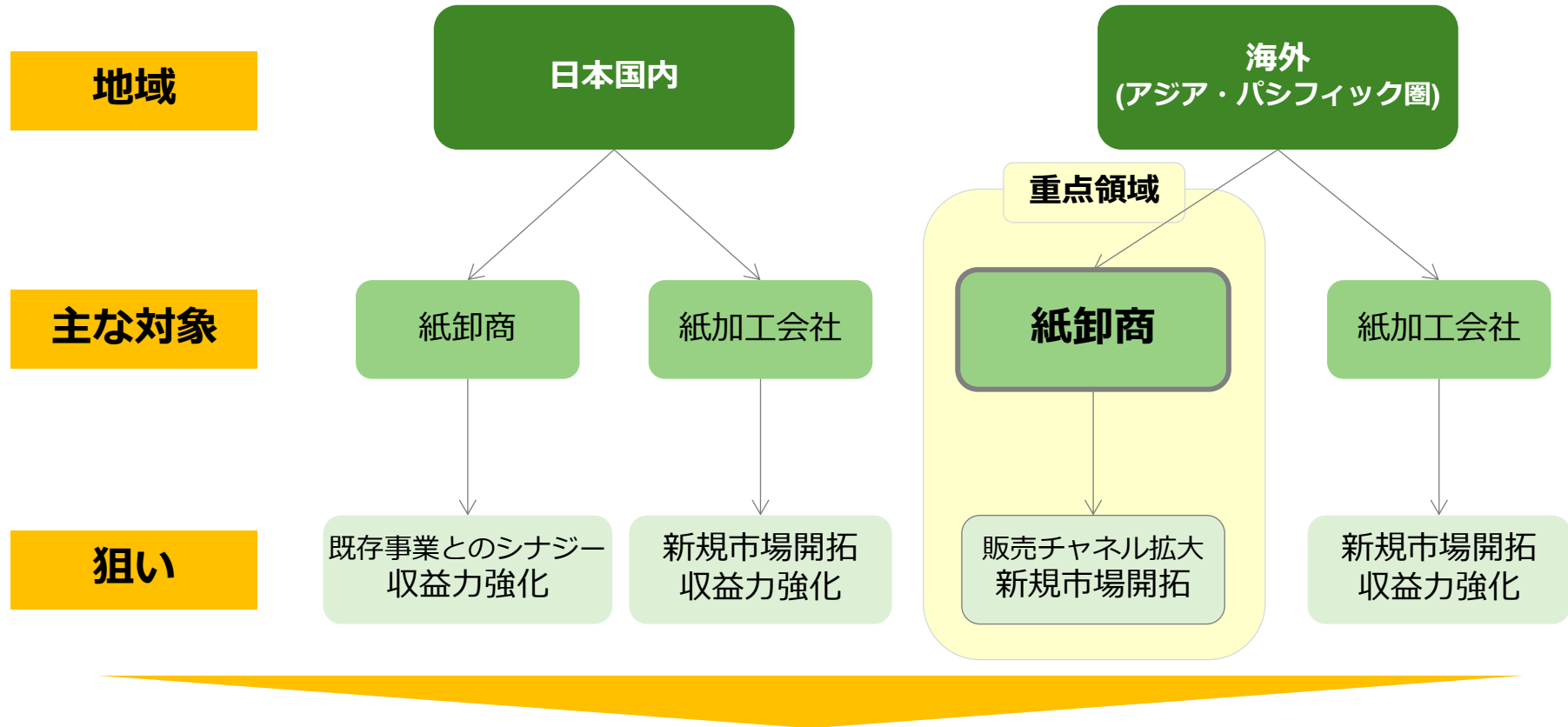
### 当社の強み

- 住商紙パルプが培ったパルプメーカーとの信頼関係
- 国際紙パルプ商事が展開してきた海外ネットワーク

**当社の強みを活かし、パルプの  
販売を強化  
同業他社との差別化を図る**



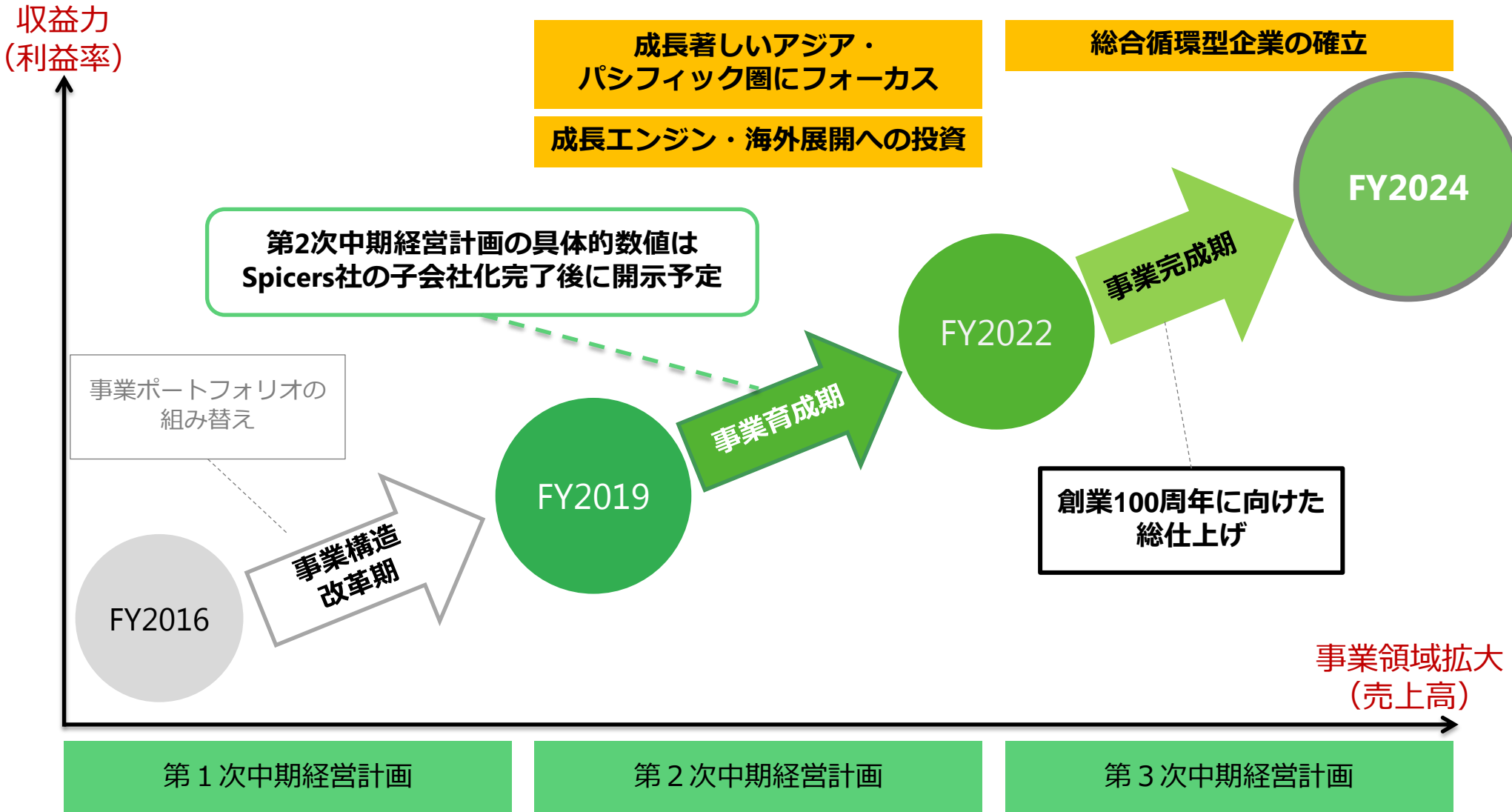
- 日本国内、アジア・パシフィック圏でM&Aを積極的に模索
- 川中分野への領域拡大



- 国内外でM & Aを積極的に模索し、事業の育成を促進
- 第1次中計で強化した財務基盤を活かし、「稼ぐ力」の具現化を図る



## ■ 創業100周年に向けて成長軌道へ





## ■ 株主還元を重視、2020年3月期についても10円配当を継続する方針

	2018/3期実績	2019/3期実績	2020/3期計画
一株当たり配当金	8円	10円	10円
目標とする配当性向	30%		



---

# APPENDIX



## ■ 創立95年の紙卸売代理店

<b>会社名</b>	国際紙パルプ商事株式会社	<b>大株主</b>	王子ホールディングス株式会社	17.0%
<b>設立</b>	1924年11月 (大正13年)		日本製紙株式会社	9.0%
<b>代表者</b>	代表取締役 社長執行役員CEO 田辺 円		株式会社みずほ銀行	3.8%
<b>本社所在地</b>	東京都中央区明石町6-24		株式会社三菱UFJ銀行	3.5%
<b>資本金</b>	4,723百万円		株式会社三井住友銀行	3.5%
<b>従業員数</b>	1,005名 (連結)		農林中央金庫	3.5%
			国際紙パルプ商事従業員持株会	3.4%
		北越コーポレーション株式会社	3.3%	
		三菱UFJ信託銀行株式会社	2.9%	
		三井住友海上火災保険株式会社	2.4%	

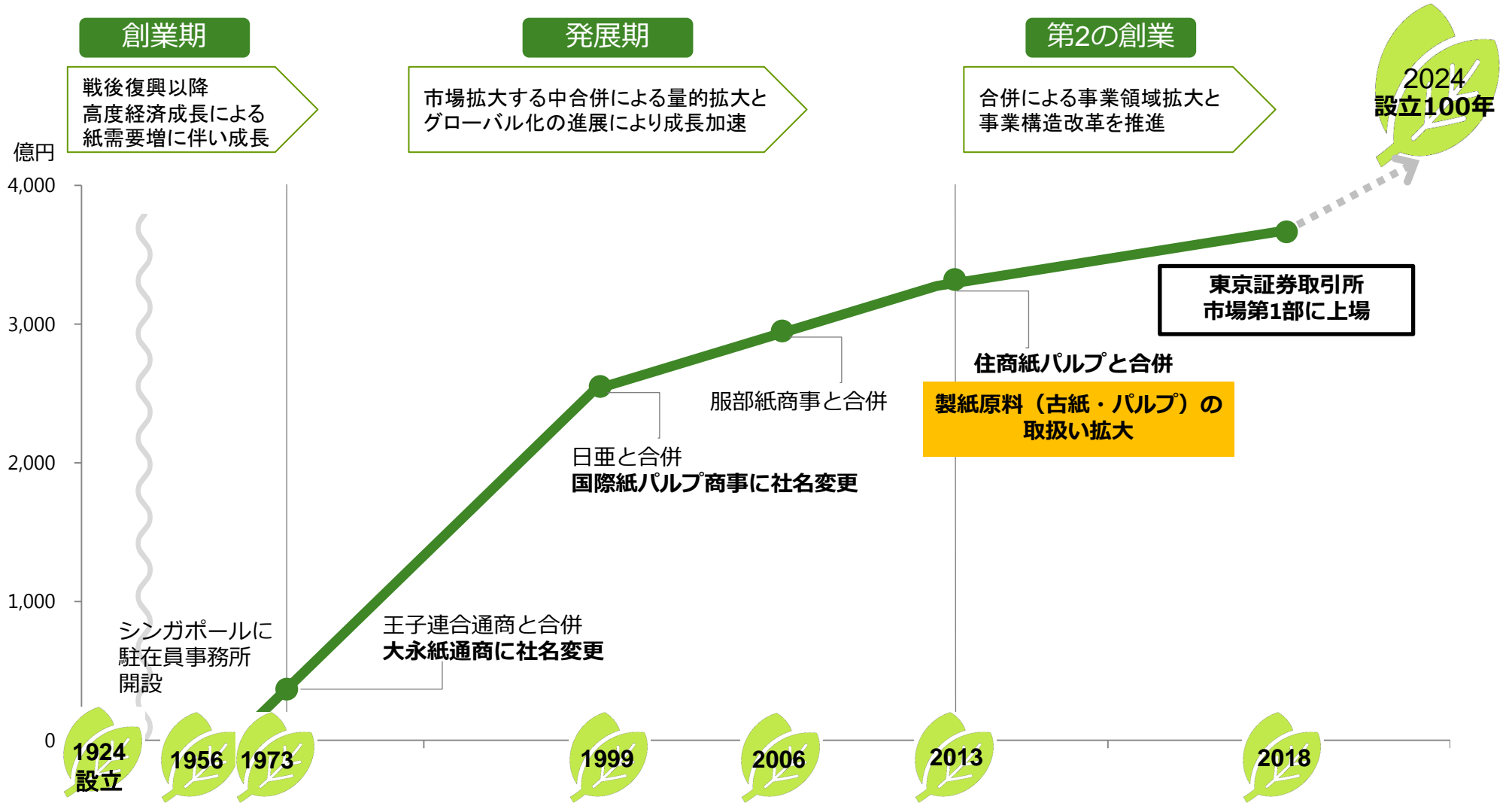
## 当社グループ (子会社21社・関連会社9社) の主な関係会社

国内拠点紙パルプ等卸売事業		海外拠点紙パルプ等卸売事業	
国際紙パルプ商事 (株)			
連結子会社	持分法適用関連会社	連結子会社	持分法適用関連会社
鳴海屋紙商事 (株) 大同紙販売 (株) 桔梗屋紙商事 (株) 岡山紙商事 (株) 九州紙商事 (株) むさし野紙業 (株) (株) グリーン山愛 ホウカンTOKYOビジネスサービス(株) KPPロジスティックス (株)	グリーンリメイク (株) (株) グリーン藤川	DaiEi Papers (USA) Corp. 慶真紙業貿易 (上海) 有限公司 DaiEi Papers (H.K.) Limited DaiEi Papers Korea Co.,Ltd. DAIEI PAPERS TRADING INDIA PVT.LTD. DAIEI PAPERS (S) PTE.LTD. DAIEI AUSTRALASIA PTY.LTD. KPP ASIA-PACIFIC PTE. LTD.	MISSION SKY GROUP LIMITED 成都新国富包装材料有限公司



# ターニングポイント

## ■ 量的拡大から事業領域拡大を目指す合併に質的变化 新たな戦略推進に向けて第2の創業



※縦軸は当社売上高

# 品種別売上高構成比 (2019年3月期)



## 紙



印刷・筆記用紙等  
(雑誌・書籍・チラシ・PPC・  
ノート・カタログ等)

## 板紙



段ボール原紙・  
紙器用板紙等  
(段ボール箱/菓子・化粧品・  
薬等の小箱など)

## 紙二次加工品



感熱紙・タック紙等  
(レシート・FAX用紙・  
シール・ラベル等)

## 製紙原料



パルプ・古紙等

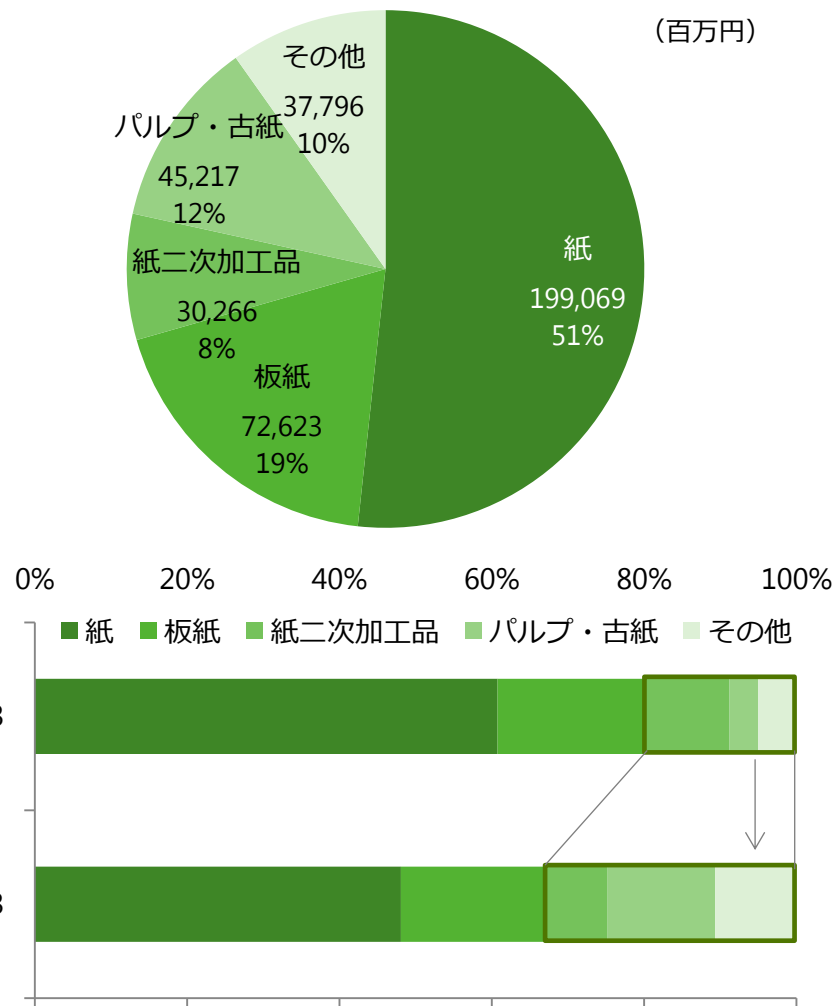
## その他



化成品・機能紙等  
(軟包装フィルム・トレー・  
飲料用紙パック原紙等)

## 品種別売上高構成比

(百万円)

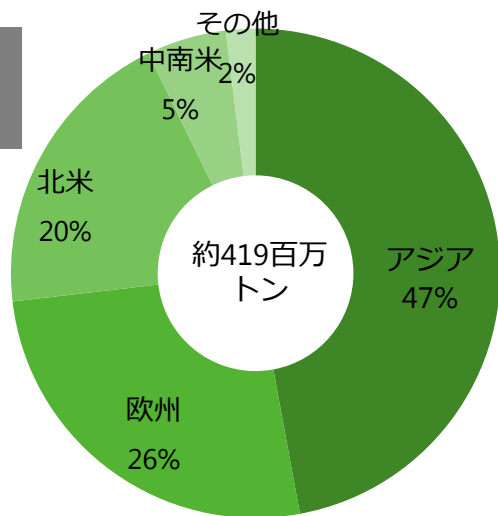




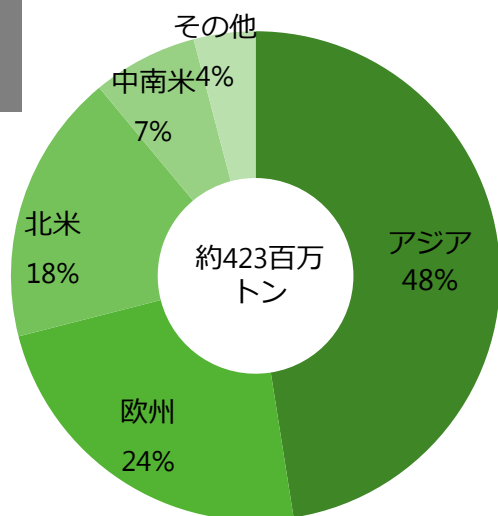


## ■ 世界の紙・板紙の生産・消費共、アジア地域が伸長、Eコマースの拡大により段ボール需要増

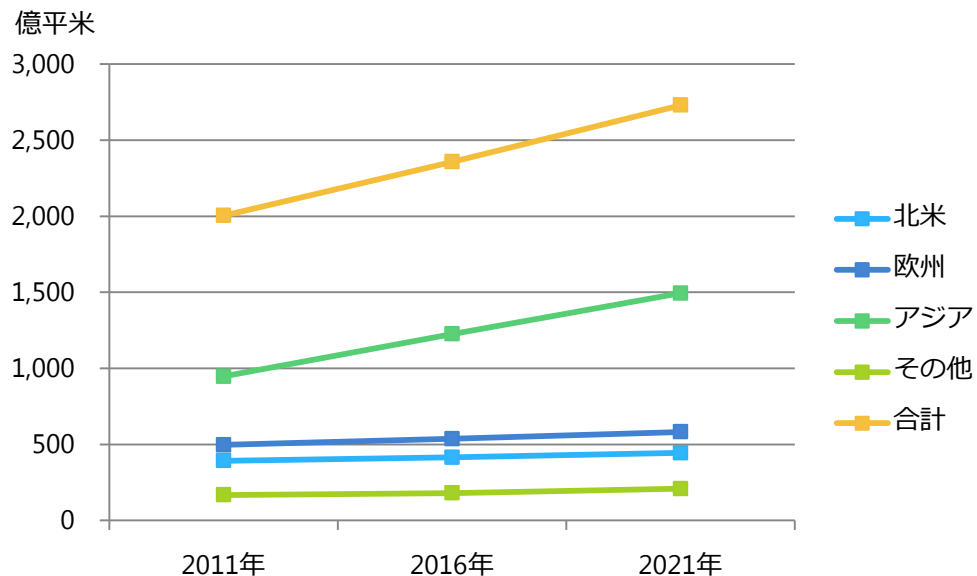
世界の紙・板紙  
生産量



世界の紙・板紙  
消費量



世界の段ボール市場規模予測



単位：億平米

地域	2011年	2016年	2021年	11年⇒21年
北米	393	415	444	113.0%
欧州	497	537	582	117.1%
アジア	947	1,225	1,494	157.8%
その他	167	180	209	125.1%
合計	2,004	2,357	2,729	136.2%

注記：21年は予測

出所：AF & PA

出所：RISI

# 紙・板紙 内需試算推移



(単位：千トン)

	2013年		2014年		2015年		2016年		2017年		2018年		2019年	
	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	見込み	前年比	見通し	前年比
新聞用紙	3,247	△1.7%	3,181	△2.0%	3,033	△4.6%	2,926	△3.5%	2,777	△5.1%	2,613	△5.9%	2,444	△6.5%
非塗工印刷用紙	2,301	△2.1%	2,230	△3.1%	2,125	△4.7%	2,091	△1.6%	2,031	△2.9%	1,889	△7.0%	1,813	△4.0%
塗工印刷用紙	5,391	△1.5%	5,170	△4.1%	4,954	△4.2%	4,743	△4.3%	4,598	△3.1%	4,259	△7.4%	4,045	△5.0%
情報用紙	1,839	△0.6%	1,831	△0.5%	1,813	△1.0%	1,836	+1.3%	1,805	△1.7%	1,811	+0.3%	1,794	△1.0%
印刷・情報用紙	9,531	△1.5%	9,231	△3.2%	8,893	△3.7%	8,670	△2.5%	8,434	△2.7%	7,960	△5.6%	7,652	△3.9%
包装用紙	761	△1.9%	766	+0.6%	729	△4.8%	717	△1.7%	714	△0.4%	725	+1.5%	728	+0.4%
衛生用紙	1,895	+0.8%	1,945	+2.5%	1,946	+0.1%	1,994	+2.5%	1,994	+0.0%	1,970	△1.2%	1,981	+0.5%
紙計	16,162	△1.3%	15,880	△1.7%	15,348	△3.3%	15,037	△2.0%	14,695	△2.3%	14,009	△4.7%	13,546	△3.3%
段ボール原紙	8,788	+1.2%	8,877	+1.0%	8,884	+0.1%	9,022	+1.5%	9,204	+2.0%	9,329	+1.4%	9,451	+1.3%
紙器用板紙	2,046	+0.7%	2,004	△2.0%	1,983	△1.1%	1,999	+0.8%	2,026	+1.3%	2,032	+0.3%	2,032	+0.0%
板紙計	11,503	+1.2%	11,555	+0.5%	11,517	△0.3%	11,665	+1.3%	11,892	+1.9%	12,043	+1.3%	12,164	+1.0%
紙・板紙合計	27,665	△0.3%	27,434	△0.8%	26,866	△2.1%	26,702	△0.6%	26,587	△0.4%	26,052	△2.0%	25,710	△1.3%

グラフィック用紙	12,778	△1.6%	12,411	△2.9%	11,926	△3.9%	11,596	△2.8%	11,212	△3.3%	10,573	△5.7%	10,096	△4.5%
パッケージング用紙	12,992	+0.8%	13,078	+0.7%	12,994	△0.8%	13,112	+0.9%	13,381	+2.1%	13,509	+1.0%	13,633	+0.9%

紙計に雑種紙を含む。板紙計にその他の板紙を含む。

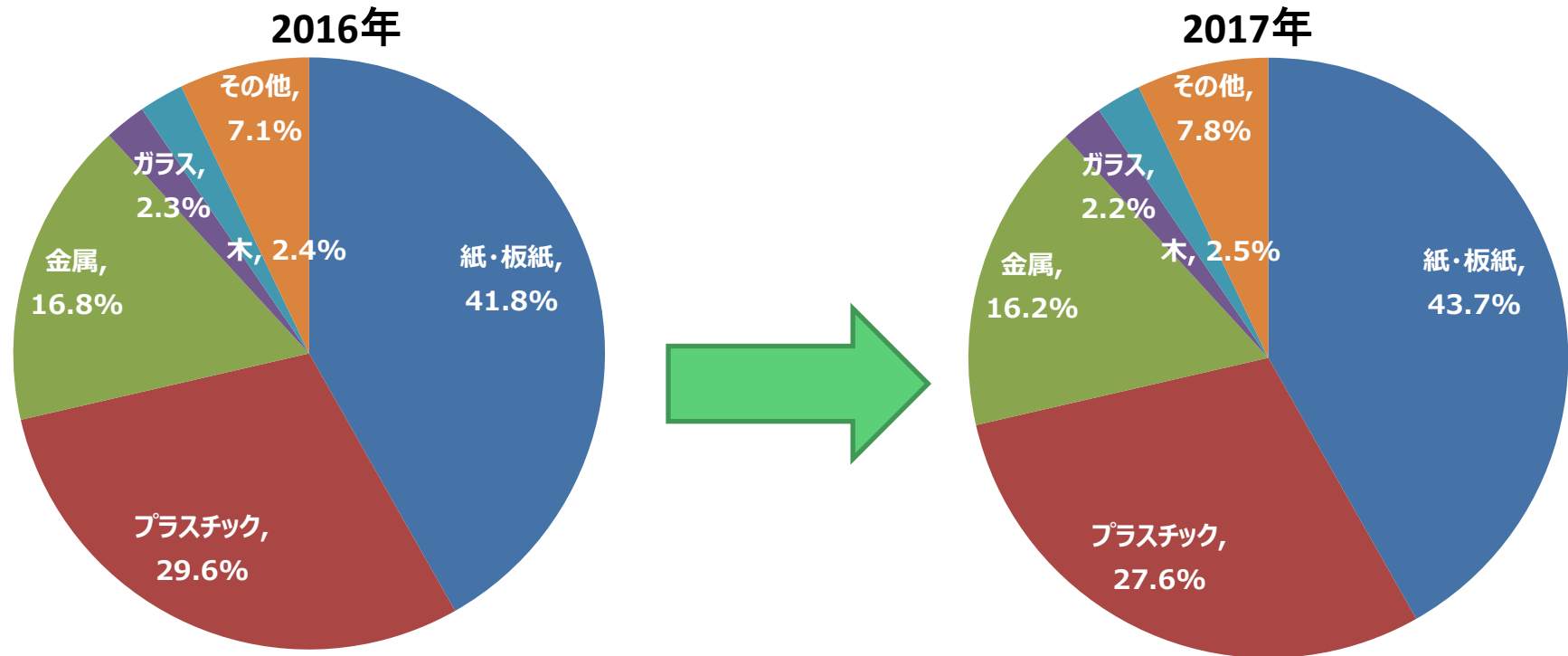
「グラフィック用紙」=新聞用紙+印刷・情報用紙

「パッケージング用紙」=包装用紙+段ボール原紙+紙器用板紙+雑種紙+その他の板紙

(出所：日本製紙連合会)



## ■ 包装材のうち、紙や板紙の構成比は40%以上を占め、前年比でも成長している



包装産業出荷統計

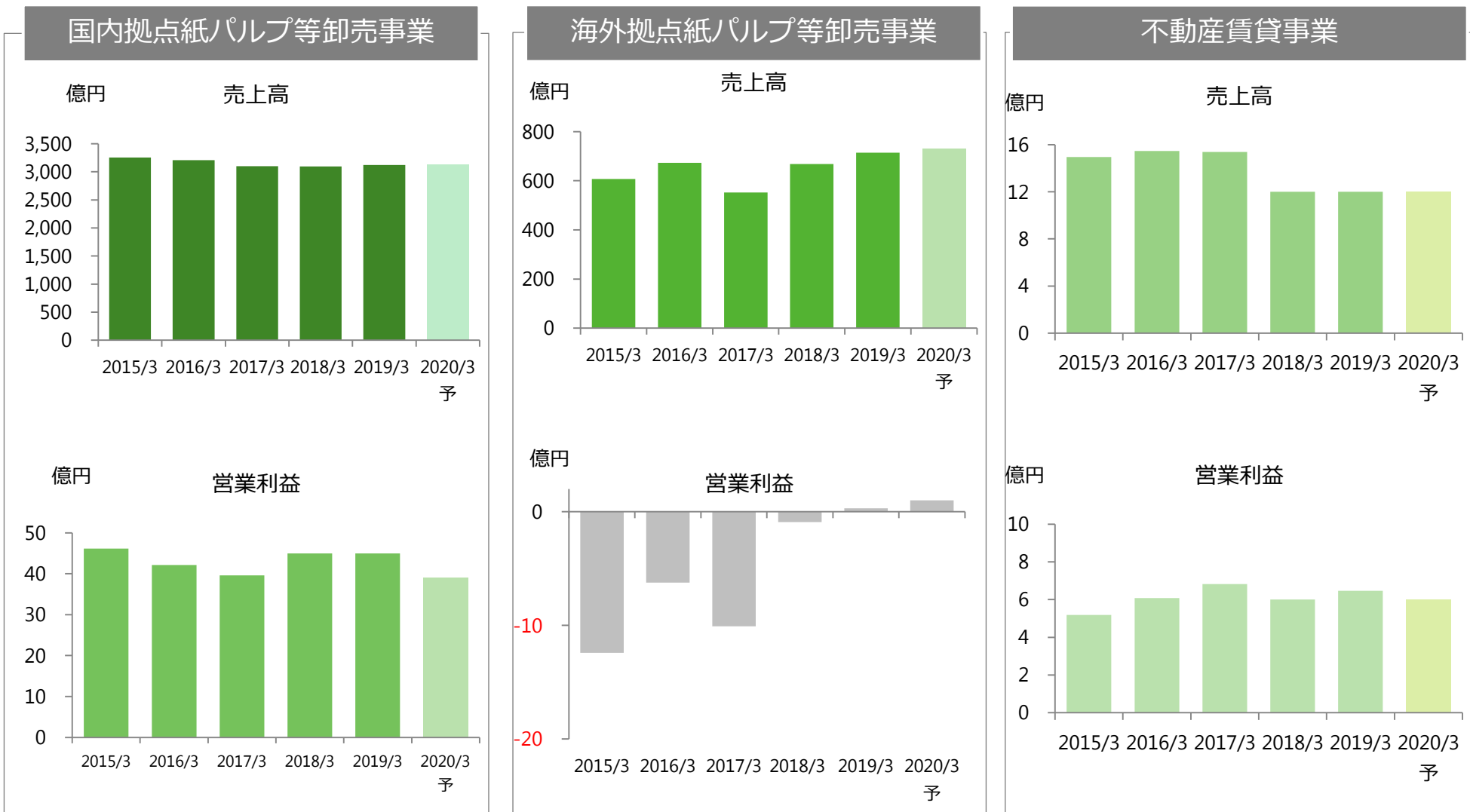
(単位：億円)

製品材	2016年		2017年		前年比
	出荷額	構成比	出荷額	構成比	
紙・板紙	23,627	41.8%	24,686	43.7%	104.6%
プラスチック	16,745	29.6%	15,622	27.6%	93.3%
金属	9,487	16.8%	9,159	16.2%	98.6%
ガラス	1,282	2.3%	1,248	2.2%	97.3%
木	1,379	2.4%	1,431	2.5%	99.6%
その他	4,023	7.1%	4,383	7.8%	100.2%

(出所：包装技術協会)



## ■ 海外事業の黒字転換 不動産賃貸事業が安定収益として下支え





- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。



## 問合せ先

国際紙パルプ商事株式会社 IR・広報課

TEL03-3542-4169

✉investor\_relations@kppc.co.jp